

神戸市看護大学 COC 実績報告冊子
第3号

2016年3月

神戸市看護大学地域連携教育・研究センター

緒言

3月10日、「教育ボランティア交流会」が、本学で開催された。授業に協力していただいている地域のボランティアの皆さんと教職員の交流会である。

私も一つのグループに参加した。模擬患者役などで協力していただいた方から「本当に学生さんの役にたっているのかわからない」、また、別の方から「学生さんと一緒に勉強したことを見つけられないまま交流会は終了の時間となった。

「びっくりぽん」や。何とその2日後の本学入学試験小論文の問題の中に、先の答えの一つを見つけた。鷲田清一『しんがりの思想—反リーダーシップ論』(角川書店)からの出典で、あるフォーラムで科学哲学を専攻する小林傳司さんが、市民たちに問い合わせを向けていたり、「どんな専門家がいい専門家ですか?」、返ってきた答えは「いっしょに考えてくれるひと」という一節である。私がたまたま読んでいた本で、その時の感想が鮮明によみがえり、正に専門家たるもののはじめの真理を言い当てている、と改めて感じた。

教育現場で時々聞かれる「不易と流行」という言葉がある。「不易」とはずっと変わらないことであり、「流行」とはその時に合わせ変えていくこと。つまり「不变の真理を知らなければ基礎は確立せず、変化を知らなければ新たな進展がない」ということになる。ただし、「両者の根本は一つである」という考え方によるものである。

平成28年度から、COC事業を継続しながら COC+事業が本格的に始まる。COCニュースレター(2016年春号)でも紹介したが、神戸大学医学部保健学科と本学の共通カリキュラムの開発や住民の生活動作や運動機能の増進に貢献する活動を行う。こうした取り組みを通じて、専門家である多職種間(理学療法士、作業療法士、看護師、保健師、助産師等)の連携を学ぶのであるが、その際忘れてはならない大事なことは、まず「いっしょに考える」という不易の態度を養うことではないかと、私は思っている。

神戸市看護大学事務局長
丸一功光

文部科学省
地（知）の拠点事業

2015(H27)年度補助金交付概要

総額 29,257,000 円

内訳

物品費 171,000 円

人件費・謝金 22,342,000 円

旅費 619,000 円

その他 6,125,000 円

<参考> 2013(H25)～2017(H29)年度補助金交付(予定)額

2013(H25)年度 18,062,000 円

2014(H26)年度 30,836,000 円

2015(H27)年度 29,257,000 円

2016(H28)年度 29,180,000 円

2017(H29)年度 29,841,000 円

目 次

緒言	iii
2015 年度補助金交付概要	iv
1 章 2015 年度活動概要	
(1)2015 年度 COC 事業関連会議一覧	3
(2)2015 年度 COC 事業の主な活動(進行図)	4
(3)2015 年度 COC 事業の広報・COC 関連大学の活動事例収集実績	5
2 章 2015 年度 COC 事業による「教育」	
(1)2015 年度教育実績：コラボ教育	9
(2)2015 年度教育実績：継続看護・訪問看護教育	16
(3)2015 年度教育実績：大学院 CNS コース	19
3 章 2015 年度 COC 事業による「研究」：神戸市看護大学 COC 共同研究費研究報告	
(1)継続看護を推進できる在宅支援事業の実施とその評価 （代表者：石原逸子）	23
(2)強い心理反応や精神症状を有する利用者や家族の対応に困難を感じる 一般訪問看護ステーションの看護師を対象にした支援体制の検討 （代表者：安藤幸子）	24
(3)地域診断を反映させた事業目標作成のための仕組みづくりの検討 （代表者：都筑千景）	25
(4)訪問看護師が利用者・家族から受ける暴力とその発生要因 （代表者：林 千冬）	26
(5)兵庫県下の訪問看護ステーションにおける非常勤従事者と離職との関連 およびその改善要因の検討 （代表者：片倉直子）	27
(6)重層的な見守り支援体制構築にむけた基礎調査： 徘徊ネットワーク事業評価のベンチマークシステムの開発 （代表者：相原洋子）	28
(7)多職種連携を促進するための実務者研修プログラムの構築 （代表者：宇多みどり）	29
(8)健康づくりリーダーの主体的健康づくり活動の継続要因と 保健師の効果的な支援方法 （代表者：波田弥生）	30
(9)認知症の高齢者と家族が地域で暮らす力を獲得していく過程と	

支援のあり方の検討	(代表者：清水昌美)	・・・ 31
(10)家族による終末期の看取り体験を語る会の設立と体験のデータベース化		
～終末期患者の家族・遺族支援プログラムの実施・評価～	(代表者：井口悦子)	・・・ 32
4 章 2015 年度 COC 事業による「地域貢献」		
(1)学生の取り組み紹介 その 2		・・・ 35
(2)2015 年度市民公開講「支えあって変えていく ～自分らしく生き、そして旅立つために～」		
1)第 1 部 報告・特別講演の概要		・・・ 36
2)参加者アンケート結果報告		・・・ 47
(3)2015 年度 COC シンポジウム「地域での看取り 終末期を地域で過ごすということ」		
1)基調講演・パネルディスカッションの概要		・・・ 50
2)参加者アンケート結果報告		・・・ 58
(4)神戸市看護大学まちの保健室出前講座の実施		
1)もの忘れ看護相談		・・・ 60
2)こころと身体の看護相談		・・・ 61
(5) その他の社会貢献活動		
1)健康講座の実施		・・・ 62
2)地域事業への参加		
5 章 2015 年度 COC 事業による活動の「評価」		
(1)2015 年度 COC 事業についての評価部門による概要		・・・ 65
(2)2015 年度 COC 事業についての学生による評価		・・・ 70
(3)2015 年度 COC 事業についての教員による評価		・・・ 84
(4)2015 年度 COC 事業についての地域住民による評価		・・・ 88
(5)2015 年度 COC 事業についての外部評価委員による評価		・・・ 95
6 章 2015 年度 COC 事業中間報告		
(1)COC 事業中間報告(平成 25～27 年度)		・・・ 101
(2)COC+への参加		・・・ 116
7 章 2015 年度 COC 事業広報関連資料など		
(1) COC 事業ニュースレター 2015 年夏号		・・・ 119
(2) COC 事業ニュースレター 2015 年秋号		・・・ 123
(3) COC 事業ニュースレター 2015 年冬号		・・・ 127

(4) COC 事業ニュースレター2016年春号	••• 131
8章 2016年度 COC 事業計画	
(1)2016年度 COC 事業活動予定表	••• 137
(2)2016年度 COC 事業関連印刷物発行予定	••• 138
編集後記	